

2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

| | | | | | | | |
|--------|-------|----------|----|----------|---------|-------|---------------|
| 科目名 | 保健Ⅱ | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 開講区分 | 後期 |
| 学科・コース | 美容師科 | 授業 形態 | 講義 | 単位 時間 | 1 30 | 曜日・時限 | 金曜日 2・3・4限 |
| 教員 | 松本 和磨 | | | | | | |

【到達目標】
過去の国家試験および国家試験関連問題の【人体の構造および機能】の項目について解答できるようになる。

【授業の学習内容】
単元ごとに国家試験の過去問を解き、理解できているところ、できていないところを確認する
過去の国家試験および国家試験関連問題の【皮膚の構造および機能】の項目を理解する

【教員実務経験】

| | 日程 | 授業形態 | 授業計画・内容 | 小テスト・定期試験 |
|----|------|------|--------------------------------------|-----------|
| 1 | 1回目 | 講義 | 皮膚の構造 皮膚表面の各部名称、構造 | |
| 2 | 2回目 | 講義 | 皮膚付属器官の構造 皮膚付属器官の名称、構造 | |
| 3 | 3回目 | 講義 | 皮膚の循環器系と神経系 皮膚の循環器系と神経系のしくみと働き | 小テスト5点 |
| 4 | 4回目 | 講義 | 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 | |
| 5 | 5回目 | 講義 | 皮膚と皮膚付属器官の保健 皮膚と皮膚付属器官の全身や精神との関係 | 小テスト5点 |
| 6 | 6回目 | 講義 | 皮膚と皮膚付属器官の保健 皮膚の老化とその対策 | |
| 7 | 7回目 | 講義 | 中間試験 | 中間試験20点 |
| 8 | 8回目 | 講義 | 皮膚と皮膚付属器官の保健 皮膚の性質および手入れに関して | |
| 9 | 9回目 | 講義 | 皮膚と皮膚の付属器官の疾患 皮膚の異常とその種類について | 小テスト5点 |
| 10 | 10回目 | 講義 | 皮膚と皮膚の付属器官の疾患 皮膚と皮膚の付属器官のアレルギー | |
| 11 | 11回目 | 講義 | 皮膚と皮膚の付属器官の疾患 皮膚と皮膚の付属器官の日焼けおよび疾患の説明 | 小テスト5点 |
| 12 | 12回目 | 講義 | 皮膚と皮膚の付属器官の疾患 皮膚と皮膚付属器官の障害・分泌異常について | |
| 13 | 13回目 | 講義 | 皮膚と皮膚の付属器官の疾患 皮膚と皮膚付属器官の感染症について | |
| 14 | 14回目 | 講義 | 期末試験 | 期末試験50点 |
| 15 | 15回目 | 講義 | 期末試験フィードバック・成績評価 | 小テスト10点 |

準備学習
時間外学習 準備:
時間外学習: 授業のノート整理、項目の復習、過去問題の練習

評価方法
●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度)
◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)
◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、
実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価

受講生への
メッセージ 授業には能動的な姿勢で臨み、義内容を聞きもらさないこと
テキスト、筆記用具は必ず持参し、メモを取れるようにしておく

【使用教科書・教材・参考書】

保健(教科書)、筆記用具